

自己改革の実践！

JAくろべ

自己改革

—JAくろべの取り組み(令和7年度)—

西部倉庫

JAくろべでは、魅力ある地域の農業や暮らしを支えるJAであり続けるため、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標を柱に自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化とともに「不断の自己改革」に取り組んでいます。ここではその内容の一部をご紹介します。

自己改革の実践には、組合員の皆様の声が必要です。取り組みに対して、皆様の声をお聴かせください。

農業者の所得増大

農業生産の拡大

◆訪問活動や農事懇談会等を通じた「担い手との対話」

◆高品質な良質米の安定生産と計画販売

目標:生産面積 1,560ha

全うるち米一等比率 95%以上 良食味米 15%以上

◆ねぎの品質及び単収向上

目標:出荷量 280t

◆農林水産物直売所「瑞彩マルシェ」出荷者組合員数の増加

目標:出荷者組合員数 320名

◆肥料工場直送の取扱い拡大を通じたコスト低減

目標:取扱量 170t



©よい食P



ねぎ播種機での種まき

地域の活性化

◆食農教育として農業体験学習の継続実施

実施予定数 小学校農業体験:9カ所

アグリスクール :3カ所

◆農業祭などの協同活動の継続実施



©よい食P



農林水産物直売所「瑞彩マルシェ」

経営基盤の確立・強化

◆新たな店舗体制の実施

◆農業倉庫の利活用の実施

◆遊休施設の整理



第9回 農業祭



小学校農業体験